

第 1 回ドローンプログラミングチャレンジ in 白浜 開催要項

ドローンプログラミングチャレンジ in 白浜実行委員会

1. 目的 ドローンによるコース飛行や画像認識といった課題をプログラミングによって解決し、中高生の技術力・創造力を育むとともに、科学や工学、そして宇宙への興味と関心を高める。
 2. 日時 2023 年 10 月 14 日（土）10 時 ～ 10 月 15 日（日）16 時
 3. 主催 クオリティソフト株式会社 和歌山県宇宙教育研究会
後援 和歌山県教育委員会 田辺市教育委員会 和歌山市教育委員会（予定）
NHK和歌山放送局 朝日新聞和歌山総局 株式会社テレビ和歌山 株式会社和歌山リビング新聞社
産経新聞社 ニュース和歌山株式会社 毎日新聞和歌山支局 読売新聞和歌山支局 わかやま新報
日本宇宙少年団和歌山分団 一般社団法人南紀串本観光協会 和歌山ロケット応援団
株式会社大塚商会（依頼中）
事務局 和歌山県立桐蔭高等学校 教諭 藤木郁久
 4. 会場 クオリティソフト株式会社 和歌山県西牟婁郡白浜町中 1 7 0 1-3
・本会場 東館
・ドローンプログラミング体験会（小中学生向けに体験会を実施します） 新館
・宿泊 宿泊棟（生徒・引率教員） シャトレ（運営スタッフ）
※駐車場は予約不要です。（無料） ※シャトレは本会場から離れています。（車で 10 分）
 5. 日程

時間	内容
10:00～10:15	開会式
10:15～	ドローンの調整
12:00～13:00	昼食
13:00～	ドローンの調整（体験会）
16:30～	ラウンド 1（大会）
17:30～19:00	夕食・交流会

時間	内容
7:30～8:30	朝食
9:00～	ドローンの調整（体験会）
11:00～	ラウンド 2（大会）
12:00～13:00	昼食
13:00～	ドローンの調整
15:00～	ラウンド 3（大会）
15:30～16:00	講評・結果発表・表彰・閉会式
- ※13 日（金）夕方からスタッフによる準備あり
6. 参加要件 ①チームは同じ高校（中学校）の生徒で構成するものとし、原則 1 チーム 3 名とする。
②プログラミング言語は Python とする。
③事前講習会（田辺会場 9 月 23 日、和歌山市会場 24 日）に参加すること。
 7. 申込方法 申込書に必要事項を入力し、メールで申し込んでください。
申込書は和歌山県宇宙教育研究会 <https://wakayama-space.org/>にあります。
（送信先アドレス） arita-k001@wakayama-c.ed.jp [向陽高等学校 教諭 有田 啓介]
 8. 申込期間 2023 年 9 月 4 日（月）～2023 年 9 月 15 日（金）
 9. 審査内容 A～E までの 5 つのゾーンに設定された課題（ミッション）をドローンが飛行しながらクリアしていく加点方式（詳細は裏面を参照してください）
 10. 表彰 優勝（1 位） 準優勝（2 位） 入賞（3 位） 入選（4 位） 奨励賞（5 位）
優勝校には賞状、トロフィー、景品が授与されます。2 位以下は賞状が授与されます。
 11. 参加費用 大会参加費は無料です。宿泊費（一部補助あり）と食費は自己負担となります。

12. 事前講習会 ドローンプログラミングの事前講習会をおこないます。本大会に参加予定の学校は必ず参加してください。(参加にはPCとtelloドローンが必要です)
- (田辺会場) 9月23日(土) 13時～16時 クオリティソフト株式会社(白浜)にて
(和歌山市会場) 9月24日(日) 9時～12時 和歌山県立桐蔭高等学校にて
13. 当日持物 PC(core i3以上推奨), ドローン(telloを想定しています), ドローンのバッテリー
宿泊の用意(宿泊の場合), メジャー, 筆記用具, メディア承諾書(参加者全員分)
※宿泊者には14日(土) 昼食から15日(日) 昼食までを準備します。
13日(金)より宿泊の場合は14日(土) 朝食も準備します。(食費はすべて自己負担)
※アレルギーが有る場合は申込書の所定の欄に記載してください。
※宿泊アメニティは用意有(ドライヤーも)
※ドローンバッテリーは貸出分もあります。※飛行距離の測定にメジャーが必要です。
※Tシャツ(フリーサイズ)と名札が参加者に配布されますので大会中は着用してください。
※メディア承諾書は所定の用紙に記入の上、保護者の方の押印が必要です。
14. 体験会 大会当日に小中学生向けドローンプログラミング体験会(無料)を実施します。
(会場) クオリティソフト株式会社新館
(日時) 14日(土) 13時～16時 15日(日) 9時～12時
(申込) 参加者の所属校と氏名(引率者含む), 希望日を記載し10月6日(金)までにメールで申し込んでください。
arita-k001@wakayama-c.ed.jp [向陽高等学校 教諭 有田 啓介]
(持物) PC、ドローンは貸出します。大会を参観して頂ける場合は昼食をご持参ください。
15. その他 新聞やテレビの取材が入ります。競技順は当日発表します。
宿泊は部屋数に限りがあるため、引率教員やスタッフは相部屋となります。
当日は進行表を掲示しますので、確認してください。
ドローンはプロペラガードを着用してください。(telloは標準装備のもので可)
国内旅行保険等の必要があれば各自で加入してください。
16. 問合わせ先 和歌山県立向陽高等学校 教諭 有田啓介
TEL 073-471-6163 メール arita-k001@wakayama-c.ed.jp

(審査内容) 本会場であるクオリティソフト株式会社 東館にA～Eまでの5つのゾーンが設けられ、それぞれに下記のような課題(ミッション)が設定されています。プログラミングドローンの飛行によって各ミッションをクリアしてください。

A	スタートゾーン	スタートゾーンからの脱出
B	壁ゾーン	幟によって作られた壁をコースに見立て、ポイントラインを通過
C	フラフープゾーン	設置されたフラフープを通過
D	色認識ゾーン	オブジェクトを色認識し右折・左折を判断
E	ゴールゾーン	ゴールポイントへの着陸

ミッションクリアごとに点数が加点されます。
同点の時は所要時間の短い方を上位とします。
最大時間は3分です。
3分経過後の加点はありません。
1ラウンドに1回の挑戦が認められます。
最も高かったラウンドの点数で順位を競います。

